

- 問1 モンゴル周辺の地域において、人々が伝統的に「ゲル」と呼ばれる移動式住居を用いながら「遊牧」を行ってきた理由として、現地の自然環境と生活の因果関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 季節風（モンスーン）の影響で夏に激しい洪水が起るため、標高の高い場所へ避難しやすい住居が必要だったため。
 2. 年間を通じて乾燥しており、家畜が食べる草や水を使い果たす前に次の場所へ移動し続ける必要があるため。
 3. 森林を焼き払った後の灰を肥料として利用する農法において、数年ごとに耕作地を変えなければならないため。
 4. 地中海性気候のように夏に乾燥するため、涼しい山岳地帯へ家畜を移動させる「移牧」を行う必要があるため。
- 問2 ベトナムの1980年代から2020年までの貿易統計を分析すると、輸出入の総額が急増していることがわかります。これと並行して起こった、ベトナムの輸出構造の変化について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 経済成長に伴って貿易総額が増大し、主要な輸出品目が米などの農産物から、機械類などの工業製品へと変化した。
 2. 経済成長とともに輸入が抑制されたため、米などの農産物の輸出に特化し、資源輸出への依存度が極めて高まった。
 3. 国内の工業化が進んだ結果、製品を自国で消費するようになり、1980年代に比べて輸出総額は大幅に減少した。
 4. 貿易総額は増加したものの、輸出の主体は依然として原油や米などの一次産品であり、工業製品の割合は低下した。
- 問3 インドのベンガルールなどで盛んな情報通信技術（ICT）産業では、アメリカ合衆国の企業からソフトウェア開発などの業務を請け負う事例が多く見られます。このビジネスが成り立つ地理的な要因について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 緯度の差による季節の逆転を利用し、農作物の収穫時期を補完しているため
 2. 両都市が同じ経線上に位置しており、通信の遅延が全く発生しないため
 3. 二国間の距離が非常に近く、海底ケーブルを短距離で敷設できるため
 4. 経度の差によって生じる時差を利用し、地球の反対側で業務を分担しているため
- 問4 中国南部の沿岸部に位置し、かつては小さな漁村であったものの、1980年に特定の経済政策が適用される地域に指定されたことで、現在は世界有数のハイテク産業が集積する大都市へと急成長した都市として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. ウルムチ
 2. ラサ
 3. ペキン（北京）
 4. シェンチェン（深圳）
- 問5 アジア各地域の産業の特色をまとめた記述のうち、地域名と産業の実態が正しく組み合わせられているものを選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 西アジア：英語を話せる豊富な人材を背景に、IT産業やコールセンターが増加している
 2. 東アジア（中国東部など）：石油の輸出収益を背景に、大規模な海水淡水化プロジェクトを主導している
 3. 北アジア（ロシア付近）：天然ゴムや木材の生産から、電気機械の生産拠点への転換が最も早く進んだ
 4. 東南アジア：工業団地への外国企業の進出が進み、電気機械などの生産が盛んになっている
- 問6 アジア州の宗教分布を示した統計において、インドに集中しているヒンドゥー教とは対照的に、西アジア、中央アジア、さらには東南アジアの島しょ部であるインドネシアまで、複数の国や地域にまたがって広く分布している宗教はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. イスラム教
 2. キリスト教
 3. 仏教
 4. ユダヤ教
- 問7 アジアで見られる季節風（モンスーン）の仕組みや影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 大西洋から一年中一定の方向に吹き続けるため、季節による降水量の変化が少ない
 2. チベット高原から吹き下ろす乾燥した風が、東南アジアに夏の大雨を降らせる
 3. 夏は海から陸へ、冬は陸から海へと、季節によって吹く方向が変化する
 4. 太平洋の寒流の影響を強く受けた風が、アジア全域を一年中乾燥させる
- 問8 世界地理における六大州の区分において、ユーラシア大陸の南西部に位置し、紅海やペルシャ湾に挟まれたアラビア半島が属する州の名称として最も適当なものを、次のうちから一つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. アジア州
 2. ヨーロッパ州
 3. オセアニア州
 4. アフリカ州
- 問9 西アジアのアラブ首長国連邦に属し、原油の輸出による豊富な資金を背景として、航空路の拠点化や観光資源の開発、金融都市としての整備を進めるなど、急速な経済発展を遂げている都市として適切なものを選びなさい。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. ドバイ
 2. フランクフルト
 3. ピッツバーグ
 4. リマ
- 問10 タイの輸出統計において、1980年から2019年にかけて見られる輸出品目の変化の説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 鉄鋼や石炭などの重化学工業製品中心から、コーヒーやバナナなどの農産物中心へと変化した
 2. 米や天然ゴムなどの一次産品中心から、自動車や機械類などの工業製品中心へと変化した
 3. 衣類や履物などの軽工業品中心から、原油や天然ガスなどの資源中心へと変化した
 4. 木材やパルプなどの森林資源中心から、半導体やコンピュータなどのハイテク製品のみへと特化した
- 問11 タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジアの10カ国が加盟している組織の現状について、誤っている説明を選びなさい。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 資源開発や工業化を背景に急速な経済成長を遂げており、世界の成長センターの一つとして注目されている
 2. 域内での関税を原則として撤廃するなど、経済的な結びつきを強める「ASEAN経済共同体」を形成している
 3. 東南アジア以外の国である日本や中国、韓国とも協力関係を築いており、首脳会議などの話し合いの場を持っている
 4. ヨーロッパ連合（EU）から全ての加盟国が離脱して移籍してきたことで、近年急速に加盟国数が増加した
- 問12 インドシナ半島の中央部に位置するある国では、工業化の進展に伴い貿易の構造が大きく変化しました。2013年の統計において、機械類の輸出額が約668億ドル、自動車の輸出額が約259億ドルに達し、これらが主要な輸出項目となっている国はどこですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)
1. タイ
 2. フィリピン
 3. マレーシア
 4. ベトナム
- 問13 2020年の世界における農産物の生産量において、中国が約42%、インドが約20%を占め、これら2カ国で全体の約6割に達している作物は次のうちどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 茶
 2. 綿花
 3. 小麦
 4. 米

答え合わせ・解説

問1	答え 2 年間を通じて乾燥しており、家畜が食べる草や水を使い果たす前に次の場所へ移動し続ける必要があるため。	内陸アジアは海から遠く湿った空気が届きにくいとため、非常に乾燥しています。一度家畜が草を食べてしまうと再生に時間がかかるため、同じ場所に留まらず、広大な範囲を家畜とともに移動する「遊牧」という合理的な生活スタイルが確立されました。ゲルは、この頻繁な移動という生活の必要性から生まれた、持ち運び可能な住居です。選択肢にある「森林を焼く（焼畑）」や「季節風による洪水」は、それぞれ熱帯や温帯モンスーン気候の特徴であり、乾燥した内陸部には当てはまりません。
問2	答え 1 経済成長に伴って貿易総額が増大し、主要な輸出品目が米などの農産物から、機械類などの工業製品へと変化した。	ベトナムでは1980年代後半からの「ドイモイ（刷新）」政策により、市場経済の導入や外資企業の誘致が進みました。これにより、かつては米や天然ゴムといった農産物や原油などの一次産品が輸出の中心でしたが、工業化が進展したことで、現在はスマートフォンや電子部品などの機械類が主要な輸出品目となっています。この変化は、貿易総額の劇的な増加とともに、国の産業構造が高度化したことを示しています。
問3	答え 4 経度の差によって生じる時差を利用し、地球の反対側で業務を分担しているため	アメリカ合衆国とインドは、経度がおおよそ180度近く離れています。この大きな時差によって、アメリカの企業が終業する時間にインドの企業が始業するといった体制が組めるようになり、効率的な業務分担が可能になっています。これは「距離の近さ」ではなく、あえて「距離（経度差）があること」を逆手に取ったビジネスモデルです。
問4	答え 4 シェンチェン（深圳）	シェンチェン（深圳）は、ホンコン（香港）に隣接する地理的条件を活かして、中国で最初に経済特区に指定された都市の一つです。選択肢のラサやウルムチは内陸部の自治区に位置する都市であり、沿岸部の経済特区とは成り立ちが異なります。シェンチェンは現在、IT産業などが非常に盛んな都市として知られています。
問5	答え 4 東南アジア：工業団地への外国企業の進出が進み、電気機械などの生産が盛んになっている	東南アジアは、外国企業の誘致による工業化が顕著な地域です。西アジアの特色は石油収益による都市開発であり、IT産業やコールセンターの増加は南アジア（インド）の特徴です。北アジアは主にエネルギー資源や森林資源の供給源としての側面が強く、工業製品の生産拠点への転換は東南アジアの説明として適切です。
問6	答え 1 イスラム教	イスラム教は、アラビア半島を中心とする西アジアから、中央アジア、さらには東南アジアのインドネシアに至るまで、国境を越えて広範囲に分布しています。これに対し、ヒンドゥー教はインドという特定の国に信者が集中しているのが特徴であり、分布の広がり方が異なります。
問7	答え 3 夏は海から陸へ、冬は陸から海へと、季節によって吹く方向が変化する	季節風は、大陸と海洋の温まりやすさ（比熱）の違いによって生じます。夏は大陸の温度が海よりも早く上がるため、気圧が低くなった大陸側へ向かって、インド洋などの海側から湿った空気が流れ込みます。これにより、アジアの多くの地域で夏に降水量が多くなる傾向があります。
問8	答え 1 アジア州	アラビア半島はアフリカ大陸に隣接していますが、世界の地域区分である六大州においてはアジア州に分類されます。
問9	答え 1 ドバイ	ドバイはアラブ首長国連邦（UAE）を構成する首長国の一つで、中東（西アジア）における物流、観光、金融のハブとして世界的に知られています。原油に依存しない経済構造への転換を目指し、人工島「パーム・ジュメイラ」や世界一高いビル「ブルジュ・ハリファ」などの大規模な都市開発が行われました。なお、リマはペルー、ピッツバーグはアメリカ、フランクフルトはドイツの都市です。
問10	答え 2 米や天然ゴムなどの一次産品中心から、自動車や機械類などの工業製品中心へと変化した	タイでは経済の発展に伴い、輸出の主軸が農業から製造業へとシフトしました。1980年代には米や天然ゴムの輸出が目立っていましたが、現在は「東洋のデトロイト」と呼ばれるほど自動車産業が盛んになり、機械類と並んで輸出額の多くを占めるようになっていきます。これにより、一次産品の価格変動に左右されにくい安定した経済成長を目指す構造へと転換しました。
問11	答え 4 ヨーロッパ連合（EU）から全ての加盟国が離脱して移籍してきたことで、近年急速に加盟国数が増加した	ASEANの加盟国はあくまで東南アジアの国々に限られており、ヨーロッパ連合（EU）から加盟国が移籍してきたという事実はありません。ASEANは日本、中国、韓国と「ASEAN+3」といった枠組みで協力したり、域内での関税撤廃を進めて経済的な一体感を高めたりすることで、世界経済における存在感を高めています。
問12	答え 1 タイ	タイは1980年代後半から、日本などの外資系企業の工場を積極的に誘致することで急速な工業化を遂げました。かつては米などの農産物や魚介類、木材の輸出が中心でしたが、現在は「アジアのデトロイト」と呼ばれるほど自動車産業が盛んになり、機械類や自動車が輸出の上位を占めるようになっていきます。
問13	答え 1 茶	茶は中国やインド、ケニア、スリランカなど、主にアジアやアフリカの国々で多く栽培されています。特に上位2か国である中国とインドの影響力が極めて大きく、この2か国だけで世界の生産量の過半数を占めているのが大きな特徴です。